

8月31日の約5時間にわたって、演劇家のオーハシ・ヨースケ氏をお招きしてオンライン絵本ワークショップ（以後WS）を行いました。文教大学国際学部塩沢ゼミ3年生をはじめ、公立鳥取環境大学、鶴見大学、創価大学、摂南大学、名古屋外国語大学の学生や教員など20数名がZoom上に会し、「Swimmy」と「雪女」（英語版）を使った絵本WSで大いに盛り上がりました。

「Swimmy」のWSは話の途中、要所所でストップしては小グループで登場人物の心情を想像して会話を創作したり、関連した表現活動を行いました。また、「自由」と「集団」の長所・短所を言い合うなど、絵本の背景にある多様な相反する価値観を考える機会にもなりました。

「雪女」では美しいパワーポイントのスライドを背景に教員5名が朗読（熱演！）し、臨場感を高めました。また鶴見大学の先生が雪女役を演じ、学生からの質問に即興で答える、「Hot Seating」というドラマ手法で登場人物の心理や背景、行動の動機などを深めました。教員も学生もオンライン上の氏名表示をニックネームに変え、冒頭の爆笑の連続の即興活動もあって終始和やかな雰囲気の中で絵本WSが行われ、次の機会を願いながら閉会しました。

Come and join us!
英語絵本を使って創造力・想像力を育む：
サマー・インターカレッジ・ワークショップ
Facilitator: オーハシ・ヨースケ (演劇教育家・身体詩パフォーマンス)

Date: Tuesday, August 31, 2021
Time: Session 1 10:00 - 12:00 Session 2 13:00 - 15:00

Supported by 塩沢義子研究グループ
 このワークショップは、科学研究 基礎研究(C) 20K02798
 「多文化共生を促す英語ドラマ・ワークショップ手法の確立と普及」の助成を受けています。
 Zoom開催、事前申し込み制、参加費無料



The next ten years passed quickly, as they worked together to bring up the children. He thought that as the years passed, she became more and more beautiful. She was always pale and avoided the mid-day sun, but her eyes sparkled, and no gray hair appeared. Most amazingly her delicate hands remained smooth as silk even though she worked in the fields, chopped wood and washed the clothes as she brought their children up.

Would you rather have . . .

supper in a castle breakfast in a balloon